

会 議 の 概 要

1 会 議 名	令和6年度第2回宝塚市社会教育委員の会議
2 開 催 日 時	令和6年10月2日(水) 14時00分～15時30分
3 開 催 場 所	人権男女共同参画センター・エル 交流学習室2
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■木下委員 □筒井委員 ■大西委員 □温井委員 □石井(宏尚)委員 ■林委員 □臯月委員 □西本委員 ■金森委員 ■石井(隆司)委員 ■槇委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議 題 及 び 結 果 の 概 要	<p>1 宝塚市の家庭教育について</p> <p>(1) 子ども家庭支援センター主催講座視察</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和6年度阪神北地区社会教育委員協議会 第2回理事会</p> <p>(2) 令和6年度近畿地区社会教育研究大会 [京都大会]</p> <p>3 その他</p>

令和6年度第3回宝塚市社会教育委員の会議 議事要旨

1 宝塚市の家庭教育について

(1) 子ども家庭支援センター主催講座視察

「新米ママのふれあいタイム」

- ・管理栄養士からの離乳食の進め方の解説（30～40分）
- ・個別に管理栄養士への相談タイム（1組7～8分程度）
- ・参加者同士のふれあいタイム
- ・わらべうたなどの赤ちゃんとの遊び（個別相談の間に実施）

(2) 意見交換

(事務局)

本日視察を実施した中で、質問などがあれば、次回会議までに子ども家庭支援センターから回答をいただく予定をしている。本日の講座の補足説明としては、参加者は8組。内容は時期によって異なり、普段は10組以上が参加している。参加者数は会場場所や駐車場の有無によって変動があるよう。他に質問などあればお願いしたい。

(委員)

講座の開催状況（回数、対象者、参加状況、会場など）を知りたい。

(事務局)

令和4年度及び5年度の開催状況をまとめたものを後日資料として配布する。

(委員)

質問が重なるが、子どもというのは何歳までを対象としていて、広報はどのようにしているのか。また、参加された方が知ったきっかけを教えてください。

(委員)

講座に参加後の繋がりやサークルなどができた事例はあるか。

参加者は定期検診や引越しに係る手続きの際などに情報を得ているのか。

(事務局)

市公式のSNSや市ホームページなどで積極的に周知しているので、そこから知る人も多いと推測している。

(委員)

市からのお知らせであれば安心感がある。

(副議長)

地域で活動していると、今の子育て世代は SNS 等で情報を得ることが多いと感じているが、SNS 等での周知がうまくいく時といかない時がある。また、大きく周知をしていなくても、インフルエンサーの方が発信することで、想定以上の方が来られた経験をした。情報の信頼があると広まるのだと感じた。

(委員)

開催していて課題に感じていることがあれば教えていただきたい。

(委員)

Instagram に掲載しているのは市職員か。

LINE は情報を欲しいと思っている人へしか届かないが、Instagram はハッシュタグ検索ができ、若い世代はそれで情報収集していることが多いと思う。今回の参加者がどのように知ったかを教えていただきたい。

(事務局)

職員が作成し発信している。市公式とは別に各部署でのアカウントも持っている。配信頻度などは各部署によって異なる。

(委員)

SNS 等で発信していても、申し込み方法は電話が多いと感じる。意図があるのかもしれないが、電話だとハードルが高い人もいるのでは。

(委員)

参加費はあるのか。

(事務局)

本日の講座は無料。材料費などの実費徴収の場合もある。

また、本日の講座は LINE からも申し込みが可能となっている。子ども家庭支援センターが発信している「きらきら子育て LINE」で子どもの成長に関するお知らせを配信している。その際に講座の周知をしそこから申し込むことが可能となっている。

(委員)

Instagram のストーリーズからは申し込みはできないのか。

(事務局)

講座によっては、可能なものもある。

(委員)

恐らく講座などに申し込む人は子育てのモチベーションが高く、積極的に情報収集をしている人だと推測する。子育てに困っている人や家に引きこもりがちの人などにも参加してほしいが周知方法が難しい。

(委員)

子育てに困っている人へは、例えば民生委員の方が情報を知っていれば、伝えることが可能になるのでは。個人情報の問題で難しいとは思いますが、困っている人がどこにいるかが分かるような仕組みがあればと感じる。

(委員)

虐待などに繋がらないよう未然防止という観点も含めて実施することが大切ではないかと感じた。

(委員)

管理栄養士や保育士はボランティアなのか。

(事務局)

管理栄養士は外部から講師として依頼している。保育士は市の職員となる。

(委員)

地域の力を活かしていくためにボランティアなどは重要だと思うが、乳幼児などの講座には専門性が高い人もいたほうが良いと思う。

(委員)

ボランティアや専門性が高い人であっても善意に頼ってしまうと限界があると思うので、待遇は大切だと思う。

(事務局)

いただいた質問については、次回会議までに回答させていただく。追加で質問があ

れば事務局までお願いします。

2 報告事項

(1) 令和6年度阪神北地区社会教育委員協議会第2回理事会

日時 令和6年9月4日(水) 14時00分～16時00分

場所 川西市役所 地下1階 B03会議室

内容 令和6年度阪神北地区社会教育委員協議会第1回研修会について
情報交換会

(2) 令和6年度近畿地区社会教育研究大会〔京都大会〕

日時 令和6年9月6日(金) 10時20分～15時40分

会場 京都テルサ

内容 記念講演

演題 祇園祭「鷹山」196年ぶりの復活 ～人がつながり、想いをつなぐ～

講師 山田 純司 氏 (公益財団法人鷹山保存会 理事長)

池田 有爾 氏 (公益財団法人鷹山保存会 作事方棟梁)

鷹山保存会

分科会

(事務局)

それでは、以上をもって、本日の議事を終わらせていただく。